

## 会 議 録

会議名称	第5期幸区区民会議 第10回専門部会（自転車事故ゼロ部会）
日 時	平成27年9月28日（月）18：30～19：30
会 場	幸区役所 4階第5会議室
出席者	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区民会議委員（50音順） 阿部法弘委員（部会長）、近藤多恵委員（副部会長）飯島忠男委員、 佐々木繁委員、西野恭一委員、原紀代子委員</li> <li>●事務局 幸区役所まちづくり推進部企画課 今村課長、佐藤担当係長、早川職員 幸区危機管理課担当 宮舘担当課長 (株)計画技術研究所 西原</li> </ul>
欠席者	大澤義和委員、押山兼二委員
傍聴者	なし
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>●議事次第</li> <li>●資料1 平成27年度第1回 体験型高齢者交通安全教室について</li> <li>●資料2 幸区民祭における自転車交通安全ブース出展概要（案）</li> <li>●資料3 「危険箇所調査」により把握した改善が必要と思われる主な事例（案）</li> <li>●資料4 「第5期幸区区民会議」スケジュール（案）</li> <li>●資料5 「自転車事故ゼロ部会」調査審議スケジュール（案）</li> </ul>
議 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「体験型高齢者交通安全教室」の実施状況の確認</li> <li>・幸区民祭における自転車交通安全ブースの出展内容の検討</li> <li>・提言内容の検討</li> <li>・今後のスケジュールについて</li> </ul>
決定事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 第2回実施に向けた「体験型高齢者交通安全教室」の改善点の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験者を2グループに分け、「交通安全講話」と「シミュレーション機器体験」の「入替制」の実施を検討する。</li> </ul> </li> <li>2 幸区民祭における自転車交通安全ブースの出展内容の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね、出展概要案をもとに実施する。</li> </ul> </li> <li>3 「危険箇所調査」により把握した、改善が必要と思われる主な箇所の検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・危険箇所として、2箇所追加する。</li> </ul> </li> </ol>
会議の内容 及び 主な発言	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 「体験型高齢者交通安全教室」の実施状況の確認 <ul style="list-style-type: none"> <li>●資料1をもとに、事務局より説明した。</li> <li>《参加者の反応について》</li> <li>・シミュレーション機器体験等、皆楽しそうにやっていた。80才くらいになるとテ</li> </ul> </li> </ol>

レビゲームのようなものは難しいかもしれないが、和気あいあいとしていた。また、警察の方の説明が分かりやすく、DVDも参加者は熱心に視聴していた。

#### 《参加者に対するサポートについて》

- ・「シミュレーション体験の点数が良くても油断してはいけない」「悪かった点について気をつければ安全に運転できる」といった呼びかけが我々の仕事と思い、実践した。
- ・シミュレーション機器をただ体験してもらうのではなく、話し合いながらやるのが良いと思う。

#### 《参加人数について》

- ・参加者は20名だったが、もっと多く、100名くらいでできるとよかった。
- ・場所とのバランスもあるので、日吉出張所の会議室の広さであれば、規模は適切だったと思う。
- ・シミュレーション機器体験の待ち時間がもったいないので、その間にDVDを視聴するなど工夫ができるのではないかと考えている。  
→10月21日の第2回については、河原町体育館の使用が決定した。先日よりも広いので、「講座」と「シミュレーション機器体験」の入れ替え制も可能ではないかと考えている。
- ・シミュレーション機器の種類を増やせるのか。  
→自分の能力を実感してもらうであったり、自転車運転の体験となると、先日の3種類くらいである。そのため、参加人数としては、先日の倍の40人程度が適切ではないかと考えている。

#### 《参加方法について》

- ・交通安全教室は自由参加方式にしてはどうか。多くの人が集まってくれるのではないかと。  
→多く集まり過ぎると、全員がシミュレーション機器をできないことも考えられる。自由参加方式については、幸区民祭で試してみたいと考えている。

#### 《今後について》

- ・今年は試行実施だが、来年度以降は、例えば商店街連合会から依頼をもらうなど、周囲に情報発信していくことが大事ではないかと。
- ・年に2、3回でも、こうした体験型の交通安全教室が実施されると良いと思う。

## 2 幸区民祭における自転車交通安全ブースの出展内容の検討

- 資料2をもとに、事務局より説明した。

### 《実施内容について》

- ・広い場所ではないので、これぐらいが精一杯ではないか。
- ・子ども安全免許証は、子どもが喜ぶのでぜひやって欲しい。
- ・「シミュレーター高評価者への記念品配布」は、何をもって高評価とするかという点で抵抗がある。特典は参加者全員に配ってはどうか。数によっては「先着～名まで」でもよいと思う。
- ・区民会議の活動を紹介するパネルを作れないか。
- ・区民会議の旗を立てた方がよい。
- ・区民会議ジャンパーを着た方がよい。
- ・子ども向けにバルーンアートでブースを飾ってはどうか。

### 《当日について》

- ・それぞれ他のブースに関わっている委員が多いので、シフトを組んだらどうか。  
→出席状況を含め、事務局で調整を行う。
- ・雨天はどうなるか。  
→基本的には開催する。

## 3 提言内容の検討

- 資料3をもとに、事務局より説明した。

### 《「主な事例」について》

- ・「東小倉三叉路」「新川崎駐輪場下の横断歩道」を追加して欲しい。

### 《通行環境の整備について》

- ・尻手交差点は、横断歩道が離れた場所にあるので、自転車だけの通行帯があってもよいのではないか。
- ・矢羽根表示がもっと増えると良い。

### 《交通ルールの徹底》

- ・不注意による事故がやはり多いのではないか。
- ・調査をしていると、いろいろな問題が起きていることがよく分かった。大きな交差点での渡り方に問題があったり、細い道では歩行者感覚で通行しているなど、さまざまなケースが想定された。
- ・自転車に乗っている時は自転車優先、歩いているときは歩行者優先、と思うのが人間の心理である。啓発活動が大事であり、できる範囲でコツコツと、次につな

がる提言ができるとうい。

#### 4 今後のスケジュール

●資料4、5をもとに、事務局より説明した。

⇒区民祭は10月17日（土）、第2回体験型高齢者交通安全教室は10月21日（水）10時～、第11回部会は10月26日（月）18時半～、第12回は11月20日（金）18時半～、第13回は12月21日（月）18時半～を予定している。

以上